

龍高通信

校長先生よりごあいさつ



校長 駒田 勝

龍野高校で二度目の春を迎えることになりました。学校長の駒田勝と申します。昨年度同様、本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

四月になるのを待ちかねていたかのように咲き始めた校庭の桜の花は、その後は先を競うように咲き誇り、今では爛漫と学舎を彩っています。

四月八日には、第八十回入学式を挙行し、満開の桜の花に出迎えられた二百三十六名の生徒が本校に入学をしました。当

日は、たつの市長 山本実様、太子町長 沖汐守彦様をはじめ、多数のご来賓の皆さまにご臨席を賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。

さて、今年で創立一二八年目を迎える本校は、県立龍野中学校（後の県立龍野南高等学校）と、県立龍野高等女学校（後の県立龍野北高等学校）の二校が統合し開校した県内有数の伝統校です。これまで四万有余の有為な人材を社会に輩出してきたことは、在校生や教職員、同窓生の誇りとするところです。

本校では「向上」「友愛」「団結」の校訓のもと、「知を創造する人づくり」をスローガンに掲げ、一つには確かな学力と豊かな



本校 HP はこちら



感性・人間性の涵養に努め、他者への思いやりと優しさをもつ「知・徳・体」の調和のとれた人材の育成を、二つには将来の国家や国際社会に貢献しようとする高い志を持つ人材の育成を教育理念とし、教育活動を推進しています。

また、昨年度末には感染症の流行により途切れていた国際交流事業を再開するため、これまで継続して交流があった米国ワシントン州シアトルにあるイーストレイク高校へ二名の教員を派遣し、現地視察を行いました。現在は、来年三月の再開に向け準備を進めているところです。加えて、従来から実施している「関東研修」や「関西研修」、「台湾研修」等の生徒研修

☆171号☆
県立龍野
高等学校
企画広報部
Tel: (0791)
62-0886

の内容を精査し、より効果的な研修となるよう見直しも行っていきます。

生徒諸君には、各々の目標をしっかりと見据え、勉強や部活動、学校行事等のあらゆる場面で充実した学校生活を送ることを期待しています。

結びにあたり、本校の発展のため、引き続きのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

教頭先生より

着任のごあいさつ



教頭 成田 明弘

四月一日付で、県立高砂南高等学校から着任

いたしました。成田明弘と申します。創立百二十八年という県下屈指の歴史を誇る龍野高校に着任し、その一員として勤務できるご縁を、大変ありがたく感じています。どうぞよろしくお願いいたします。

着任早々ではあります。日々接する生徒たちからは、高校生らしいさわやかさだけでなく、物事に対するひたむきなエネルギーが伝わってくるように感じています。そうした瞬間には、代々受け継がれてきた、誇るべき伝統の重みに思いを致さずにはいられません。

同時に、このような素晴らしい学校の教育活動に携わる者としての責務の大きさに、身の引き締まる思いを強くしています。

さて、本校は「向上」「友愛」「団結」の理念のもと、「知・徳・体」の調和がとれ、将来、国家や国際社会に貢献することのできる人材の育成を目指しています。本校が社会から求められている役割を

ふまへ、学習活動、HR活動、生徒会活動、学校行事、部活動等、あらゆる教育活動を充実させるべく、教職員一丸となつて尽力しています。中でも、文部科学省の研究開発指定であるスーパーサイエンスハイスクール(SSHS) 第三期も3年目を迎え、探究活動においては、関係機関の協力のもと、多様な事業や研究実践を行ってまいります。この恵まれた教育環境を有する龍野高校の3年間で、生徒たちが未来を切り拓く力を存分に養い、前途有為の人材として実社会へと巣立っていくことを心から願っています。

結びにあたり、本校の発展のため、今後とも引き続きご協力とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



第79回入学式

令和7年4月8日、第80回入学式を挙行しました。

新入生は担任の先生から名前を呼ばれた後、駒田勝校長先生より「入学許可」が伝えられました。

続いて、新入生代表の西田祐人さんが、力強く新入生宣誓を行いました。

式の終了後は、各ホームルーム教室でロングホームルームが行われ、新入生たちはこれからの学校生活についての説明を受けました。



離任式

令和7年4月9日、離任式が行われました。

古河真紀子前教頭先生をはじめ、山村竜也先生、吉村夫佐先生、久住善博先生、宮本亜矢先生、近藤絢彬先生、藤原花帆先生、梶浦壮馬先生、田中泰覚先生がご来校くださり、

本校での思い出や、人生における心構えなど、温かいメッセージをいただきました。

その後、生徒会長の濱野朔さんが感謝の言葉を述べ、生徒会執行部の生徒が先生方に花束をお渡ししました。



着任式

令和7年4月8日、着任式が行われました。

校長先生より、この春に着任された9名の先生方の紹介がありました。新年度が始まり、生徒達も気持ちを新たに、学校生活のスタートを切りました。



職員異動

離任者(転出先)

- 古河 真紀子 (加古川北)
- 山村 竜也 (姫路東)
- 吉村 夫佐 (相生)
- 久住 善博 (龍野北)
- 宮本 亜矢 (赤穂特支)
- 梶浦 壮馬 (姫路海陵)
- 田中 泰覚 (上郡)
- 藤原 花帆 (赤穂)

転入者(前任校)

- 近藤 絢彬 (姫路飾西)
- 三坂 美紀 (網干)
- 成田 明弘 (高砂南)
- 桑田 卓郎 (姫路南)
- 末川 竜輝 (県立大学附属中)
- 照本 和生 (赤穂)
- 片淵 貴史 (佐用)
- 吉川 陽子 (赤穂)
- 亀井 さくら (書写養護学校)
- 岨 彩香 (姫路特支)
- 能地 茜 (龍野北)

進路結果

令和7年3月末現在、

主な国公立大学の合学者数は以下の通りです。

- 金沢大1名、静岡大4名、京都工芸繊維大1名、大阪大1名、神戸大2名、兵庫教育大6名、奈良教育大3名、和歌山大1名、鳥取大20名、島根大5名、岡山大8名、広島大1名、山口大3名、徳島大8名、香川大6名、愛媛大4名、高知大2名、九州工大1名、長崎大1名、鹿児島大1名、国立

大学88名(浪人生8名)、公立大学43名(浪人生2名)でした。主な私立大学では自治医科大1名、東京理科大1名、津田塾大1名、豊田工業大1名、京都産業大4名、同志社大3名、立命館大11名、龍谷大4名、大阪工大26名、関西大14名、近畿大51名、関西学院大20名、甲南大42名でした。医学部医学科は鳥取大1名、自治医科大1名でした。

なお就職者は公務員就職1名を含む計3名でした。77回生については昨年とほぼ同等の国公立大学の合格数でしたが、北は北海道、岩手から南は長崎、鹿児島まで地域の枠を広げた受験をし、進学する者が多数出ました。また昨年に引き続き医学部医学科に合格する者が出るなど最後まであきらめず、強く志望校にこだわり受験をしました。

5月行事予定

- 1日(木) 耳鼻科検診AM
- 7日(月) キャンパス
- 13日(火) カウンセラー来校
- 16日(水) ネット犯罪防止講話⑦
- 5月考查
- 21日(水) 第一回クリーン作戦
- 22日(水) 進路講演会(3年)
- 22日(水) 眼科検診PM
- 尿検査(二次)
- 23日(木) 耳鼻科検診AM
- キャンパス
- 28日(水) カウンセラー来校
- 28日(水) 歯科検診AM
- 29日(木) 30日(金) 広島臨海実習
- 30日(金) 耳鼻科検診AM
- 26日(月) 教育実習
- 6月13日(金)

